

部門名	一般土木工事（小規模）
案件名	市道安台原線外1線側溝改良工事（早着）
工期（始）	令和4年4月2日
工期（終）	令和4年9月22日
場所	黒田町外
事業者名	大軌建設株式会社
代表者名	代表取締役 佐藤 正明
技術者役職	主任技術者
技術者名	来待 正利
工事概要	施工延長 L=89m 側溝工 L=83m 張コンクリート工 A=17 m ²
表彰理由	本工事は老朽化した側溝の改修工事である。掘削中において湧水のある軟弱な土質であることが判明し、対応が必要となったが、迅速な変更対応がなされた。また、通学路であったことから保安対策に特に留意した施工計画をたて、事故無く完成させた優良な工事であった。

本工事は表彰技術者である、大軌建設株式会社の主任技術者（当時）来待正利氏は受賞の感想を「社員全員で良いものを造りたいという思いが今回の受賞に繋がり、嬉しく思っています。」と話す。

本工事で心掛けたことは「軟弱地盤と接続側溝の逆勾配等の問題等があり設計から変更となり大変な現場でありました。しかし、発注者監督員の方とのコミュニケーションを密に行い迅速な回答と調整をしていただきました。また、地元住民の方ともコミュニケーションを頻繁に行うことで工事を円滑に進めることができました。このようにコミュニケーションに心掛けました。」と語る。

来待氏は仕事における今後の目標は「私の技術や仕事への思いを若い世代に伝えていくことが目標です。」やりがいについては「完工後、その構造物がたくさんの人に利用されているのを見ると「自分の仕事がたしかに人の役に立っている」と実感できる場所です。」と話す。



これから建設業界を目指す人へは「週休二日制の導入をして長時間労働が少なくなりました。また、ICT 導入による生産性の向上などを行っています。皆さん一緒に働きませんか。」とメッセージを送った。

最後に、来待氏が勤務する大軌建設株式会社について紹介してもらいました。

「私は、大軌建設に新卒で入社して約 20 年勤務しています。これだけ長期に働けるのは、社員全員が良いことも辛いこともお互いに助け合いながら、皆で良いものを造りたいという思いを持って業務を行っているからです。社員全員で同じ目標に向かって業務を行っていることが良いところだと思っています。」



大軌建設株式会社
(写真左) 取締役 工事部長 吉村氏
(写真右) 主任技術者 来待氏